

# 春日・広瀬中学校適正規模合同地区委員会だより

春日・広瀬中学校適正規模合同地区委員会

平成24年8月30日 NO.6

## 第6回春日・広瀬中学校適正規模合同地区委員会が開催されました

春日中学校、広瀬中学校の適正規模化を検討する第6回適正規模合同地区委員会が7月11日(水)上川淵市民サービスセンターにおいて開催されました。

会議の概要は、次のとおりです。

### <今までの協議経過>

平成22年度、春日中学校・広瀬中学校に地区委員会が設置され、それぞれの委員会で自校の適正規模化について討議を重ねてきました。

両校とも生徒の人数が減り、教科担任制の充実や、部活動の活性化が難しくなっていることが確認されました。

両校の地区委員会が行った地域を対象としたアンケートでも、それぞれ統合が相応しいという結果になりました。

平成23年10月に合同地区委員会が設置されました。

合同地区委員会では、基本的には春日中学校・広瀬中学校を廃校にした上で、新たな中学校をどちらかの校地・校舎を利用し設置するという視点のもと、今までどちらの学校が統合校として相応しいか協議を重ねてきました。

### 1. 協議概要

合同地区委員会が5回開催され、どちらの学校が統合の設置場所に相応しいか、様々な角度から意見交換をしてきました。今回の会議の中で春日中学校区の委員さんから、今後の地域の変化を暫く見守る必要が高まってきたとの意見が出されました。主な意見は以下のとおりです。

#### 主に春日中学校区の委員より

地域のアンケートを実施し統合が相応しいと方針をまとめた時点では、まだ前橋赤十字病院の誘致が決まっていなかった。しかし、現在誘致が決まったことを踏まえると、この地域は人口が増えるなど変化が予想される。そのため、統合は望ましいものの、暫くは地域の変化を見極める必要がある。

#### ◇主に広瀬中学校区の委員より

両校の実態を考慮した場合、どちらの学校が統合校として相応しいかの結論を出して、早く統合を進めるべきである。前橋赤十字病院の誘致等に伴う地域の変化で仮に生徒増となった場合などは、その時点で増築等に対応すべきである。

### 2. 会議経過と今後の方向性

今回の合同地区委員会では、統合校の設置場所の方向性をまとめる予定でしたが、全体的な意見としてまとまるまでには至りませんでした。そこで合同地区委員会としては、子ども達のより良い学習環境のため現状では両校とも統合することが望ましいものの、しばらくは地域の変化等の様子を見定めるために、合同地区委員会は一旦解散として休会とすることになりました。

◆「合同地区委員会だより」は後日ホームページ上にも掲載いたします。

(<http://www.city.maebashi.gunma.jp/kurashi/230/257/004/p003248.html>)

<問い合わせ> : 前橋市教育委員会学校教育課教育企画係 電話: 898-5865 FAX: 221-3418